

「令和7年度ウォーカブルな可部旧街道に係る検討支援業務」受託候補者特定基準

評価項目	評価の観点	配点
1 実施方針等		70
(1) 基本方針の整合性等	・業務の趣旨を的確に理解し、地域の特性を踏まえ、自らの強みを生かして取組を進めていく意図が示されているか。	20
(2) 実施方法の整合性等		
ア 令和5年度からの取組を踏まえたワークショップ等の開催	・実施手順やその考え方が明確に示されているか。 ・その内容は適切かつ効果的なものか。	20
イ 計画策定に向けた資料等のとりまとめ	・実施手順やその考え方が明確に示されているか。 ・その内容は適切かつ効果的なものか。	20
(3) 作業計画の整合性等	・作業計画が、業務内容・方法に対して、妥当かつ現実的であるか。 ・スケジュール、人員、作業手順等が適切かつ具体的であるか。	10
2 実施体制等 （実施主体の適格性）		20
(1) 実施体制の妥当性等	・実施内容に対して、遂行可能な人員が確保されているか。 ・命令系統、役割分担が明確かつ適切であるか。 ・発注者の要望等に迅速・柔軟に対応できる体制が備わっているか。 （再委託先がある場合は、実施体制に含める。）	10
(2) 実施能力の妥当性等	・実施内容に関する幅広い知見、情報収集能力、企画提案力を有しているか。 ・円滑に業務を遂行するための管理体制が示されているか。	10
3 従事予定者の経験・能力		10
類似業務の経験とその作業内容実績（最大5件まで）	・まちづくりに係る業務経験があるか。 ・関連した業務の経験を有し、業務を遂行できる有益な専門知識、ノウハウ等があるか。	10
合 計		100